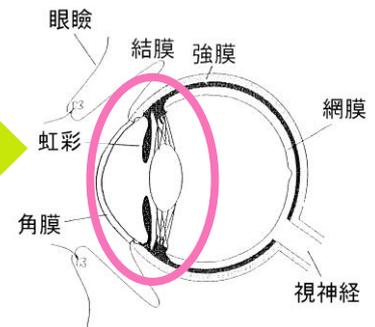


前眼部 OCT CASIA(カシア) を導入しました

眼に直接触れずに、前眼部を立体的に観察する器械です。狭隅角眼や緑内障手術後の経過観察、角膜の疾患を検査する際に有用です。従来の器械よりも撮影時間が短縮されたので、患者さんの負担が減りました。



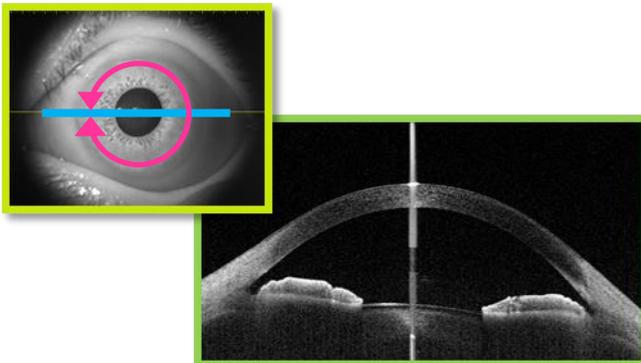
前眼部: 下図の丸の部位



代表的な検査モードは以下の通りです

<角膜、結膜、虹彩、水晶体撮影>

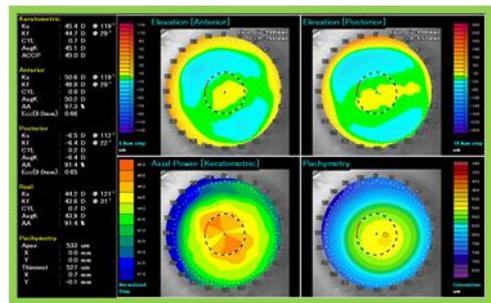
従来の機械では、一度の撮影において一方向の断層写真の撮影をしていましたが、CASIA では一回の撮影で360度どの方向の断層写真も得る事が出来ます



<角膜形状解析>

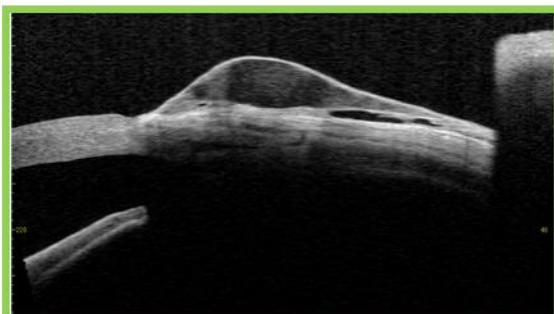
角膜の形状を見る検査であり、乱視の状態を確認する際に重要です

- ① 白内障の手術前の検査に使用
- ② 円錐角膜の早期発見や経過観察に有用
- ③ 乱視用眼内レンズ挿入のサポート
- ④ コンタクトレンズの適切なカーブの選択ができる



<濾過胞撮影>

緑内障手術後の様子を評価するために使用します



<隅角定量>

隅角の角度をより詳細に評価するために使用します

